

保存版

福島県からのお知らせです

# 新型コロナウイルス感染拡大の予防のため 「新しい生活様式」を実践しましょう

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。そのため、私たち一人一人がこれまでの日常生活の行動を変え、「新しい生活様式」を定着させていくことが大切です。今回、紹介する「新しい生活様式」を皆さんで実践しましょう。

## 1 感染防止の基本となる3つの取り組み（いつも心がけましょう）

**① 人と人の距離を取りましょう**

飛沫感染を防止するため、できるだけ2m（最低1m）空けましょう

**② マスクを着用しましょう**

外出時や会話するときは、症状がなくてもマスクを着用しましょう

**③ 手洗いを徹底しましょう**

家に帰ったらまず手や顔を洗いましょう（30秒かけて石けんで丁寧に）

## 2 「3つの密」を避けましょう

**① 換気の悪い密閉空間**

**② 多数が集まる密集場所**

**③ 間近で会話や発声をする密接場面**

**「3つの密」を避け、クラスター（集団）での感染発生を防止することが重要です**

避けるためには…

- こまめに換気
- 人との距離を取る
- 会話する際は可能な限り真正面を避ける

## 3 出かけるときは

**● 出かける前に体温測定と健康チェック**

発熱または風邪の症状がある場合は無理せずに自宅で療養しましょう  
※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にしましょう

**● 遊びに行くときは屋内より屋外を選びましょう**

福島県の豊かな自然を楽しみましょう

- 感染流行地域からの移動は控えましょう
- 感染流行地域への移動は控えましょう
- 発症したときのため、誰と、いつ、どこで会ったかをメモしましょう

## 4 こういふ場面では（日常生活での新しい生活様式）

**◎ 買い物**

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- レジに並ぶときは、前後にスペース

**◎ 食事**

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに

**◎ 娯楽、スポーツ等**

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 歌や応援は、十分な距離をとって

**◎ 公共交通機関**

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 近い距離は徒歩や自転車を使ってみる

**◎ 冠婚葬祭などの親族行事**

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

**◎ 職場**

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- 会議はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

店舗（販売店、飲食店、遊技施設など）や各種施設、公共交通機関などが行う「感染防止対策」にご協力をお願いします

県の対策や予防法などは  
一般相談（コールセンター）にご相談ください

☎0120(567)177

月～金曜日 / 午前8時30分～午後9時 土日祝日 / 午前8時30分～午後5時15分

次のような症状がある場合は帰国者・接触者相談センターにご相談ください

- ① 悪寒しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある
- ② 高齢者や基礎疾患がある方、妊娠中の方で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある
- ③ 発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く（4日以上続く場合は必ずご相談ください）

☎0120(567)747 24時間（毎日）

# 新型コロナウイルス感染症への

## 「新しい生活様式」を実践

### 一歩ずつ前へ進もう

自分事と考えると  
引き続き感染予防対策を

#### ■ 5月25日全面解除

政府は、4月16日に全国に拡大した緊急事態宣言について、5月14日に福島県を含む39県、5月21日に大阪府など3府県、5月25日に東京都など5都道県を解除し、全国に出されていた緊急事態宣言は全て解除されました。

#### ■ 安全宣言ではない

「新たな局面のスタート」  
新型コロナウイルス感染症の収束には、人口の60%以上が新型コロナウイルスの抗体を持つような集団免疫を得ることが必要だとされています。このため、ワクチンが開発されるか、長い時間をかけて感染拡大をコントロールしながら、

多くの人が抗体を持つまで待つ必要があります。

※ 下段に「新型コロナウイルス感染症の収束までのイメージ」を掲載。

5月25日現在、世界の感染者数は、213の国と地域で540万人を超えています。外国の例でも対策を緩和した後で、感染が再燃することが起きています。今後、日本でも感染拡大が収まり小規模状態が続いても、いつ第2、第3の波がやってきてもおかしくありません。

#### ■ 『新しい生活様式』で一歩ずつ前へ

新たな局面では、『新しい生活様式』のもとで、「感染拡大防止」と「社会経済活動」の二つを両立させながら、段階的に日常生活へ

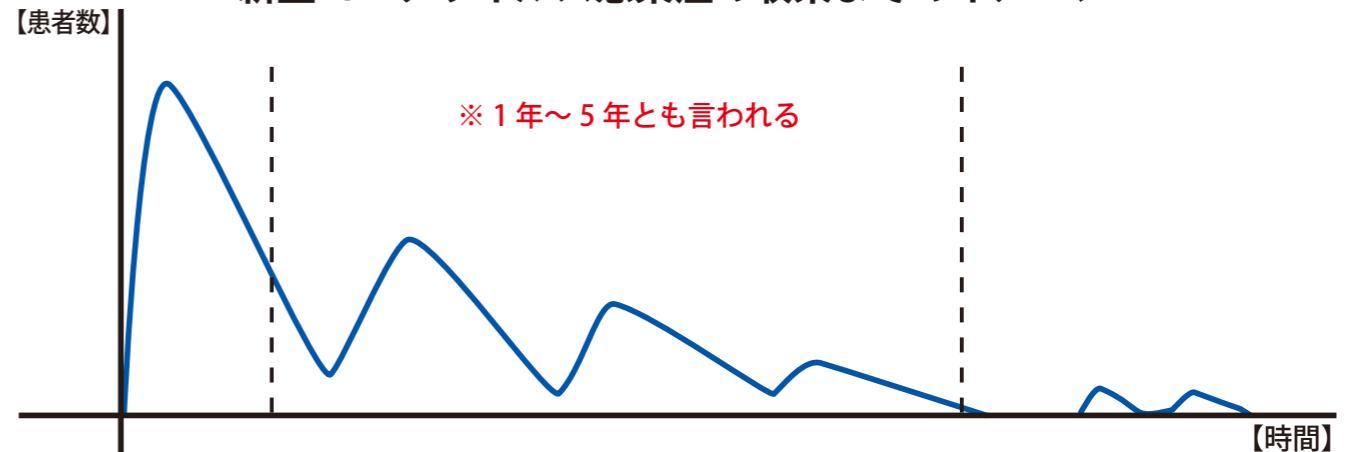
戻していく必要があります。

一人ひとりが自分事と考え、感染予防対策をとることが重要です。新型コロナウイルス感染症に感染しないために、そして健康な日常生活を送るためにも、今、私たちができることを行い、一歩ずつ前へ進みましょう！！

#### ■ 施設利用のガイドラインを策定

町では、各施設の再開に伴い、「新しい生活様式」にあわせた利用に関するガイドラインを作成しました。利用されるみなさんには、感染防止のためご理解とご協力をお願いします。なお、各施設の詳しいガイドラインの内容については町ホームページなどをご覧ください。

## 新型コロナウイルス感染症の収束までのイメージ



経済活動 ← 現在 ← 感染の拡大と抑え込みの繰り返し → やがて収束へ →

#### ■ 新型コロナウイルスとの共存の時代

- 外出自粛と緩和の繰り返し
- 段階的な経済活動の再開
- ワクチンや治療薬の開発、医療資源の拡大

#### ■ 新型コロナウイルス収束の時代

- ワクチンなどで集団免疫の獲得
- 感染・重症化リスクの低減
- 季節性インフルエンザと同様に